

1. 派遣者情報	氏名(所属・職位)	小林和歌子(青山学院大学 兼任講師)		
	JACET での役職・支部	セミナー事業委員 関東支部		
2. 派遣先学会概要(国際交流委員会で記入)	学会名・会員数・締結年			
	会長			
	国際交流窓口			
3. 派遣先大会概要	大会名	48 th RELC International Seminar		
	テーマ	Assessment in Language Education : Innovations, Issues, and Insight		
	日時	2013年3月18日~20日		
	会場	SEAMEO Regional Language Centre in Singapore		
	発表件数	約100件		
	一般参加者参加費	S \$450(約3万5千円)		
4. JACET 派遣者としての業務(発表以外、JACET からの派遣者として依頼を受けたこと、行ったことなど。)	開会式・閉会式に参列し、周囲の会員や RELC 関係者に紹介された。今回のセミナー企画委員長である Dr Hannah Pillay 先生にご紹介されて、JACET の代表として御挨拶をした。その他昼食時やコーヒータイムに発表者や参加者に JACET から派遣されてきたことなど含めて話す機会を出来るだけ持った。			
5. 本人発表報告	題目	The Use of EIKEN Can-do Statements for Assessing the Writing Skills of Japanese University Students		
	発表枠・時間	40分(30分発表 10分質疑)	論文提出の有無	○有り 無し
	反応等	30名弱の聴衆を前にパワーポイントを使用し英語で発表させて頂いた。事前に聴衆の多くと話す機会を設けたが、シンガポール、マレーシア出身の研究者が多かった。質問は2つ出て、そのうち1つは柳川浩三先生(法政大学)から Rasch 分析に関するものであった。発表後も聴衆の質問に答えたり、補足説明をする機会に恵まれて大変好感触を得ることができた。		
6. 聴講した主な講演・発表(1~2例)	題目	Classroom Based Assessment: Key Issues for Language Teacher Education		
	発表者	Constant Leung (Professor, King' s College London, the UK)		
	概要	Recent development in education and assessment reforms in many parts of the world have pointed to the need for teachers to have a good grasp of assessment issues. The overall aim is to help promote assessment literacy and teacher professionalism in relation to continuous teacher development.		
	題目	What Are We Testing When We Think We Are Testing Listening?		
	発表者	John Field (Senior Lecturer, University of Bedfordshire, the UK)		
	概要	Listening is difficult skill to teach and test. We need to take account of cognitive validity. An important theme will be that local testing by teachers should not follow too closely the conventions of international-high stakes tests.		
7. 所感(780字程度)	JACET 代表として、過日シンガポールの RELC 学会に参加・発表する機会を頂戴致しまして心より感謝申し上げます。大会のテーマが「語学教育における評価」とのことで評価・査定に関する基調講演・発表・ワークショップが多く準備されていました。参加者総数は 500 名を超えて、大変盛況でした。日本からは基調講演・ワークショップその他に渡部良典教授(上智大学)がいらしていたのを始めとして、発表者は 15 名、参加者は 18 名でありました。アジアの学会とのことですが計 20 か国以上からの参加者があり、服装・英語の発音等それぞれに各民族背景がうかがわれ国際性・多様性を実感しました。日程は、3 日間に渡り、朝 8 時半から夕方 5 時 45 分辺りまでびっしりと基調講演、研究発表、ワークショップ、招待講演者との会話、全体質疑応答などの多彩なプログラムが組まれており大変充実した 3 日間を過ごすことが出来ました。今回の大会は 48 回目でしたので、運営面・内容ともに非常に優れた高い水準の国際学会であるとの印象を持ちました。RELC の所有する RELC 国際ホテルにて開催されたので、講演会場や各発表用の部屋にはコンピュータ、マイク、スクリーンなど完備されており、コーヒーブレイクやランチなども RELC 関係者のご尽力とホテルのスタッフのお蔭をもちまして、非常にスムーズにまた混乱することなく進みました。JACET と RELC 学会との益々の交流を祈念し報告と致します。			
大会全体の感想、共同研究の可能性、その他の国際交流活動の提案など				